



今年の鉄相場

今年の鉄スクラップ相場は今現在、秋の建設需要期に入り相場が上がっています。今年は1月から相場が上がり続け8月に1回若干の下げがあった後、反発に転じ2年前の最高価格に並びつつあります。

又、例年より平均スクラップ価格が当然のことながら高く（相場が上がっている上に底値も高かった為）このまま行けば今年の平均価格は、高原相場一色になるのではないのでしょうか？

今年も？中国は粗鋼生産がすでに前年比を上回り、昨年の価格の下落が頭をよぎるのですが、今年はちょっと違う動きとなっています。原因を探ってみると、**日本ではスクラップの発生は前年比で1割程減少**しています。

これに加え、通常ですと、中国のスクラップ購入意欲が出てくる頃に台湾・韓国も加わり、相場が上がります。ある程度購入すると買い控えに入り価格が下がるのがパターン化していました。まさに中国次第といったところでしょうか。ただここ数年**中国のスクラップ購入量は横這い傾向**をたどっているのです。中国の生産量は増えているのにスクラップの購入量は減っている？？不思議に思う事でしょう。これは中国には電炉が少なく高炉が多いと言うことが原因となっているのです。

高炉の主原料は鉄鉱石で、電炉がスクラップなので、当然電炉が少なればスクラップの使用も少ない、これがスクラップ購入の横ばい傾向につながっているのです。

では、先に書いた輸出がある程度あるのは何故？と言う点に疑問が出てくるのではないのでしょうか？

それは台湾・韓国の影響があるのです。

今まで台湾・韓国は、直近の日本のスクラップだけでなく、アメリカからのスクラップも購入していましたが、アメリカからの購入ですと、契約からデリバリーまでにタイムラグが生じます。そうすると製品価格が上昇中なら問題ないのですが、逆に下がっているとコスト高になり負担が大きくなってしまいます。

それに比べ日本のスクラップはデリバリーも早く、製造コストもアメリカのスクラップ程影響を受けにくく、計算しやすいというメリットがあります。

唯一難点と言えば、品質でしょうか。この点については今後弊社も含めた輸出に携わる全ての問屋サイドの意識改革が課

題となりそうです。

ここ最近では、先の要因に加え東京製鐵の防衛買いが入り、相場を押し上げています。

10月中頃までは国内の建設需要に支えられ、相場は上がっても下がる気配はなく、それ以降も下がったとしても緩やかで、底値と言えるのかどうか分かりませんが、価格帯も今年の1月より上であるの間違いのないと思われます。

今年例年の動きとはまるっきり違った動きとなっているのは、正に**スクラップが国際商品となり、世界の色々な状況変化により左右される物の一つ**になっていると言えるのではないのでしょうか？

社員教育

さてここでもまるっきり話は変わりますが、最近の悩みとして社員教育の難しさがあります。

私も当年持ちまして39歳となるのですが、この業界に足の先っぽを入れたのが小学5年生頃の夏休みなどの手伝いだったのですが、それから長期や休みがあるたびに家業を手伝っていました。その当時、私を仕込んでくれた番頭？みたいな人は優しくも厳しく、社長の息子など関係なく頭を叩かれたりして仕事を教えてくれました。そのおかげで？現場仕事はある程度こなせるようにはなりました。時は流れ今の時代、若い社員に同じように鍛えようとする中々難しく最悪の場合は辞めていくような場合もあります。最近色々な講習にも出てみるとコーチング等の教育方法が主流となっていますが、**いつも危険と隣り合わせの業種としてはそれでは手遅れの場合もあるので個人としては、？となる場面もあるのが実情です**。諸先輩方には失礼かと思いますが、すでに私も考え方が老兵の部類に入っていると痛感します。最近この業界もリサイクルと言うイメージが先行して若い人にも昔の3Kとは違うような捕らえ方があり、入ってきてくれるのには感謝ですが、やはり危険と隣り合わせも認識させないと怪我をしてからでは遅いと思うのは私自身が多くの怪我で痛みを知っているからなのです。

又熟練不足から他人に対しても怪我をさせる恐れがあります。そしてそれと平行に商品知識を教え込み、早く一人前にしないとお客様にも迷惑が掛かります。

これからもお客様のお役に立てよう社員教育に努める所存ではございますが、何か不都合等ございましたら何なりと事務所までお伝えください。又合わせてお褒めの言葉もございましたら社員の励みとなりますので是非お声がけを御願いしたいと思います。

これからも社員一同皆様のお越しをお待ちしております。

「鉄以外の物も扱っていますか？」と問い合わせがありますが、弊社では、他にも銅、真中、アルミ、ステン、銅線等も取り扱っております。特にアルミサッシは地域一番の高値で買い入れしております。是非何かございましたら遠慮なくお問い合わせください。